

あかれんが vol.7

Yokohama Chuo Hospital AKARENGA

『藤田院長よりご挨拶』



新しいエネルギーを得て難関を突破

世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスにより、どの医療機関でも、また、どこのご家庭でもCOVID-19対策で大変な毎日を送っていることと推察申し上げます。今こそ我々医療者が世の中のために頑張るときです。

迫りくる危険には十分な備えをもって対処しましょう。地域連携と院内連帯で必ずや乗り越えられると確信しています。

3密(密閉・密集・密接)や不要・不急の外出が自粛要請されている緊急事態宣言下の現在は、以前のように膝を交えて話し合うことはできませんが、電話や手紙、SNSなどを用いて院内外や院内各部署間で十分な意思の疎通を図っていきましょう。

この春からは各部署で新しいスタッフを迎えて、以前にも増して充実した医療が提供できるようになりました。エネルギッシュな若者の行動力はそのまま病院の活力として地域に還元できるようになるでしょう。温かい目で育てていきたいと思います。職員のモチベーションこそが病院の宝です。

また横浜中央病院では特定医療行為の資格を持った専門看護師を育成し、CT・MRI検査や栄養指導などと同様に地域からの期待に応えることで、きめ細かく地域医療の充実に貢献できる体制を図っています。十分な感染対策で自他共に安全・安心な医療を確保していきたいと思います。



病院長 藤田 宜是





着任のご挨拶

この度、令和2年4月1日付で JCHO東京山手メディカルセンターから異動により事務部長に着任した井澤裕匡（いざわひろまさ）と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。

JCHOとしては、横浜保土ケ谷→JCHO本部→東京山手MCを経て4施設目となりますが、住まいも元々横浜でもあり、更に全社連時代から伝統のある当院に異動となり、大変うれしく思うとともに、身の引き締まる思いで勤務させていただいております。

病院での現場経験では、総務業務や医事課で窓口業務やレセプトの作成等請求業務、健康管理センターでは営業活動、珍しい部署としては、入院ベッドコントロール専従、病院建替え時に建設準備室という部署にも在籍していた時もありました。

現在、新型コロナウイルス感染症により、今までに経験のない重大な局面に立たされておりますが、職員を守ることを何よりも優先し、そのうえで患者さんからは喜ばれ、働いている職員も家族や親しい友人などが病気になった時に受診させたいと思えるような病院を目指して、皆さんと協力してより良い病院づくりができればと思っておりますので、よろしくお願いします。



事務部長
井澤 裕匡



副看護部長よりご挨拶

この度、JCHO横浜中央病院の副看護部長を拝命いたしました。

当院は、救急医療を担うと同時に地域包括ケア病棟、訪問看護ステーションを有し、地域に密着した医療を目指しています。また、看護学校も併設しており、教育環境も充実しています。このように恵まれた環境を余すことなく活用し、地域医療に貢献することが当院のミッションです。そのために、まずは、病院の置かれている現状と、地理も含めた周囲の環境を把握することから始めたいと考えています。

今、医療はコロナウイルスの脅威によって、危機的状況を迎えています。だからこそ、知恵と工夫で心にゆとりが持てる職場環境を整えることと、地域医療に関わる方々との連携強化を大切にしたいと考えています。

当院の周辺には、松任谷由実の「ドルフィン」とハマトラの聖地である元町があり、若かりし頃の憧れの地でもあります。歴史ある町と「横中」の更なる発展に向けて尽力したいと思います。

今後ともよろしくお願いいたします。



副看護部長
茂木 真由美



新しく横中に加わった医師を紹介します



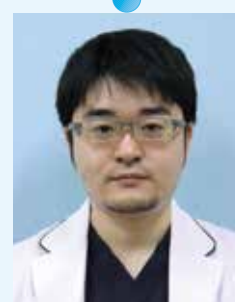
平出 聡 医師
(ひらで さとし)
腎臓内科部長



古屋 真吾 医師
(ふるや しんご)
循環器内科部長



八田 拓海 医師
(はった たくみ)
循環器内科医師



外田 真暉 医師
(とだ なおき)
整形外科医師



菊田 大一郎 医師
(きくた だいいちろう)
消化器内科医師



山本 慎一郎 医師
(やまもと しんいちろう)
泌尿器科医師



宇都宮 慧 医師
(うつのみや けい)
腎臓内科医師



高山 裕正 医師
(たかやま ひろまさ)
歯科口腔外科医師



朝倉 茉由 医師
(あさくら まゆ)
皮膚科医師



田中 裕也 医師
(たなか ゆうや)
腎臓内科医師



日鼻 涼 医師
(くさはな りょう)
呼吸器内科医師



佐藤 澤令 医師
(さとう みれい)
臨床研修医



松瀬 瑞穂 医師
(まつせ みずほ)
臨床研修医



郡司 尚典 医師
(ぐんじ ひさのり)
臨床研修医



仲山 達也 医師
(なかやま たつや)
臨床研修医

よろしく
お願いします



外来栄養指導依頼を受け付けています

当院では近隣クリニック等の先生方から、外来栄養指導の依頼を受け付けております。

糖尿病、脂質異常症、高血圧症、慢性腎臓病、肥満症、高尿酸血症などの生活習慣病で、栄養指導が必要な患者様がいらっしゃいましたら、ぜひ当院にご連絡ください。

栄養指導のお申込みから栄養指導報告書発送までの流れ

①予約受付

当院の地域ケアサービスセンター、地域医療連携室にて予約を受け付けておりますので、お電話にてご連絡、または「栄養相談依頼書兼情報提供書」に内容をご記入の上、FAXでご連絡ください。

栄養指導日時の決定後、「栄養相談のご案内」をFAXでお送り致します。

②栄養指導当日

患者様には予約時間の20分前までに病院にお越しいただき、栄養指導を行います。栄養指導内容について、後日郵送でお送りします。

ご連絡お待ちしております。



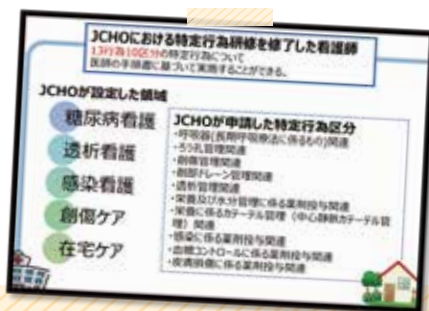
独立行政法人地域医療機能推進機構
横浜中央病院 地域ケアサービスセンター
TEL 045-681-9534
FAX 045-681-9542

JCHOでは地域医療の場で看護師が「治療」と「生活」の両面から患者様の状態に応じて、より迅速かつ適切な対応ができることを重点的に強化するために平成29年度から看護師の特定行為にかかる研修を自施設内で行っています。当院では3月に新たに2名の特定行為修了者を輩出することができ、院内授与式を行いました。修了生は分野を広げ、学びを継続しながら院内で実践能力の強化に努めています。

現在、在宅看護分野を中心に6名が受講をしています。住み慣れた地域で患者さんを支えるために地域での活躍に備えています。どうぞよろしくお願いいたします。



特定行為研修
修了者の徽章



栄養及び水分管理に係る薬剤関連
血糖コントロールに係る薬剤投与関連
主に栄養管理、脱水やインスリン投与量の
調整などを行います



栄養及び水分管理に係る薬剤関連
感染に係る薬剤投与関連
主に栄養管理、脱水や感染兆候のある
患者さんの薬剤投与などを行います

おわりに…

コロナ感染症の蔓延により多くの医療関係者が大変な状況となりました。当院でも地域医療を通常に行うことが困難となり、医療連携にも大きな影響を受けております。しかし、この状況下でも多くの患者様がコロナ感染症以外のご自身の病状や治療に不安を抱えていらっしゃると思います。私たちはできる限り通常診療や入院治療ができるよう診療体制を整えてまいりました。今後も感染予防に努めながら、地域医療の支援を続けてまいりたいと思います。

副院長兼地域ケアサービスセンター長 大岩功治



独立行政法人 地域医療機能推進機構
Japan Community Health care Organization
JCHO (ジェイコー)
横浜中央病院
Yokohama Chuo Hospital

〒231-8553 横浜市中区山下町268番地
TEL : 045-681-9534 (地域連携室直通)
FAX : 045-681-9542
E-mail : chiikirenkei@yokohama.jcho.go.jp
URL : http://yokohama.jcho.go.jp

